

展示

有楽町ビル10Fにある、
YAU STUDIO内の展示です。

①④ THE COPY TRAVELERS

『「THE COPY TRAVELERSの22色の空飛ぶ絨毯」予告編』
4月1日から新東京ビルの仮囲いで発表する新作の制作プロセスから生まれたイメージや、これまでに制作した映像作品なども加えて展示する。

② 松井祐生 (関川卓哉)

『踊り忘れた身体のためのバレ』
VR空間と写真に侵食された部屋の中で、境線界を見つける遊戯体験。

③ TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH

『archiving as progressive vol.2 | 100 WINDOWS』
「東京クリエイティブサロン2023」における「100 WINDOWS」のアーカイブ展。
YAU STUDIOの窓を「透明な壁面」として、
約20組の作家がアーカイブを構築する意味を再考する。

⑤ KANAKO SAKAI

日本のものづくりの技術を、ブランドのクリエイションに乗せて世界に発信していくことをミッションに、2022SSより始動したファッションブランド。
参加プロジェクト「TOKYO FASHION STRIDE」が
新丸の内ビル行幸通り側のウィンドウにて展示中(～2023.3.31)。

⑥ 宮島達男

『時の海 - 東北』プロジェクト(50/3000 デモンストレーション)
東日本大震災の犠牲者の鎮魂と震災の記憶の継承を願い、
東北に想いを寄せる3,000人と共につくるプロジェクト。これまでに制作した
「時の海 - 東北」のデジタルカウンターのうち50個を配置した作品の展示。

⑦ YAUアーカイブ展示

2022年2月にスタートしたYAUのこれまでを映した記録映像の上映。

イベント

トークセッションやワークショップなど、
アーティストの思考・視点を体験できるイベントです。

A 3/9 15:00~ y/n「レクチャーパフォーマンスで教育を考える」

ドキュメンタリー的な手法とレクチャーパフォーマンスという形式を用いて作品をつくってきたこれまでの活動と、
5月発表予定の新作についてのプレゼンテーション。

B 3/9-10 16:00~20:00 ビジネスパーソンのためのアート相談窓口(各30分・無料)

個人的な関心から仕事上の相談まで、アートとビジネスにまつわるお悩みはありませんか？
アートの現場で活躍する専門家が一緒になって考えます。

C 3/10 15:00~16:30 泉太郎「イメージするレクチャー」

目的や答えに辿り着くことから離れ、背景や対象の裏側にあるものに着目する。アーティスト 泉太郎によるレクチャー。

D 3/11 15:00~16:00 布施琳太郎「ラブレターの書き方:総集編」

「二人であること」という視点から、美術作品、アニメーション、詩、手紙、医学的な症例報告、
情報技術などについて考えてきた自主企画の連続講義。番外編としての総集編トークを一般公開する。

E 3/11 13:00~14:00/16:00~17:00

宮島達男「時の海 - 東北」プロジェクト タイム設定ワークショップ

参加者は生命の永遠性を象徴するLEDの数字の点滅速度を設定できる。手話通訳あり。

F 3/12 15:00~ 菅野歩美 / 17:30~ 潘逸舟

YAUアーティスト招聘プログラム参加アーティストによる、ポートフォリオトーク。

G 3/12 16:00~ チーム・チープロ「身体を晒すことについて(yokaibody 妖怪的身体)」

現在進行中のふたつのプロジェクトについて、身体をつかってキーワードをマッピングしながら行うトークセッション。
YAUアーティスト招聘プログラム参加アーティスト。

H 3/10-12 13:00~18:00 ※別会場「ソノ アイダ #新有楽町」と同時開催

TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH×Curator Table「ポートフォリオレビュー」

自身のポートフォリオ、作品やプロジェクトのレビュー(講評)、キャリアや企画について、
国内外で活動するアーティスト、キュレーター、アートマネージャーに無料で相談できる場。





「YAU OPEN STUDIO 2022」梅沢英樹＋佐藤浩一展示風景 © TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH PROJECT

YAUとは？

YAU(有楽町アートアーバニズム)とは、まちがアートとともにイノベティブな原動力を生み出すための実証パイロットプログラムです。NPO法人大丸有エリアマネジメント協会、一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、三菱地所株式会社により組成された「有楽町アートアーバニズムプログラム」実行委員会によって、2022年2月にスタートしました。

2022年10月から再始動したYAU第2期では、稽古場を備えたアーティストスタジオと、公募によって集まった、アート活動にさまざまな立場から携わるアート関係者のためのコワーキングスペースを運営しながら、対話と交流のイベント「YAU SALON」を実施し、アート&ビジネスの核となるコミュニティ形成に取り組んできました。

有楽町ビル10階でのYAU STUDIOでの活動は、ビル閉館を迎える2023年10月までの期間限定ですが、その後も大丸有エリア(大手町・丸の内・有楽町エリアの総称)の中で場所を変えながら、ビジネス街における「アートアーバニズム」を継続・実践し、大丸有におけるアートとビジネスをつなぐ永続的な活動体となることを目指しています。

YAUアーティスト招聘プログラム

YAU第2期から発足したYAU招聘プログラムは、菅野歩美、チーム・チープロ、潘逸舟の3組のアーティストをYAU STUDIOに招き、多様な他者、都市、ビジネスとの出会いと交流を通した制作活動をサポートするプログラムです(2023年2月~5月末)。

このプログラムを通して、表現手法が異なるアーティストがまちに滞在し、まちの活動に参画することから、従来のコミッションワークを超えて、都市においてアートとビジネスが協働する在り方と、その開拓を目指します。

これまでの活動について

YAUでは、これまでの活動を記録し、考えるメディアとして、noteアカウント「YAU編集室」を運営しています。過去のイベントレポートやアーティストによる寄稿コンテンツなどを公開中。ぜひご覧ください。

<https://note.com/arturbanism>



YAUプロジェクトチーム：深井厚志／森純平／小山泰介(TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH)／武田知也、藤井さゆり(一般社団法人ベンチ)／丹原健翔／東海林慎太郎／金森千紘／小森あや／山本さくら／村松里実／株式会社フロントヤード／SNZ(シノバズ)

主催：「有楽町アートアーバニズムプログラム」実行委員会(NPO法人大丸有エリアマネジメント協会、一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、三菱地所株式会社)
共催：東京都(一部プログラムを実行委員会との共同事業として実施) 助成：国土交通省 協力：株式会社アトム(A-TOM Co., LTD.)／エコファニ

企画

TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH

「都市の多角的なリサーチ」、「現代写真の実践的な探求」、「写真文化の発展的な研究」を通じて、未だ見ぬ都市と社会と人びとの姿を可視化することを目的としたアートプロジェクトです。

bench



演劇やダンス、アートプロジェクトのプロデュースやコーディネートに関わる舞台芸術制作者を中心に発足した、アートマネージャーのコレクティブです。

SNZ

SNZ(シノバズ)は、2021年に森純平、長谷川新、山川陸を中心にスタートした、若手アーティストが直面するさまざまな困りごとについて考える相談員のネットワークです。

ソノ アイダ

「ソノ アイダ #新有楽町」は、三菱地所の新有楽町ビル1階の空き店舗区画を空間メディアとして活用するアートプロジェクトです。